



千葉労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

92.7.14 No. 3626



揺れる連合支配

脈々の現場労働の反戦意識!

「連合を擁護したい」(竹下元音相)。これは政府支配階級の本音である。

九〇代の労働者支配の成否をかけた連合を発足させ三年がたった。

その連合はPKO・自衛隊派兵情勢という歴史を画する重大局面でその反動的正体を全面的に露呈

戦争推進を叫ぶ 連合幹部

五月十五日開催された「連合三役会議」は、実におぞましい戦争推進会議として開かれた。

《合化同盟》

「自衛隊が合憲であることをはっきり出すべきだ。憲法は自衛戦争や制裁戦争を放棄していない。PKOに協力するのは当然」
《全通》
「自衛権は国として当然の権利。」



警官・市民もみ合い

6.15PKO強行、成女に怒る?

現場組合員の反PKOの決起 幹部との亀裂を拡大

五・六月PKO反対闘争は、「交流センター」の決起を推進力としながら連合傘下の広範な労働者の連日決起を実現し「国論を二分」する状況を作りだし、出兵阻止に向けて更に発展しようとしている。現場労働者の反戦意識は脈脈と生きつづけ連合支配を揺がしている。こうしたたたかいは反映し「連合三役会議」で自治労幹部は、「自衛隊は違憲というのが組織内の

「事業団闘争」等、連合傘下の広範な労働者が決起・結集を開始している。
いよいよ、動労千葉の真価を發揮するときを迎えている。



PKOへの自衛隊参加はナマ(生)でなければ賛成」
《全金同盟》
「自衛隊は合憲。PKO賛成。アジア諸国の「要請」(抗議)をか

わすためにも予野党で「反省」を決議するよう呼びかけよう。」
☆実に自民党ですら公然とは言えないことを平然と叫んでいるのである。

多数意見。首脳部で自衛隊が合憲としても産別内では直ちに通用しない。」と現場の怒りを無視出来

連合傘下組合の中い 動労千葉(国鉄)も支援拡がる

連合は仮にも労働組合の看板を掲げている。そうである以上千人をこえる労働者が首を切られるという大政治・社会問題について態度表明をしなければならぬ。
しかし、今だかつて一言半句も言及していない。逆に幹部は物販活動などに敵対しているのが現実である。

しかし、こうした「制動」にもかかわらず動労千葉の物販は九二年冬から今夏(七月十日現在)にかけて新たな協力労組・団体が実に四〇〇を上まわる勢いとなっている。
まさに清算事業団闘争こそ連合支配をつき崩す核心的たたかいである。

私鉄スト、ラッシュ直撃



連合春闘の破産

「私鉄11年ぶりにスト決起」
連合が労働者の賃上げ抑圧機関であることは明白である。
とくに彼らの犯罪的役割は、JR総連革マルに代表されるように「ストライキ根絶」にある。だが、今春闘では、ついに現場労働者の不満と怒りは爆発し私鉄では十一

年ぶり、山岸の出身・全電通すらストを打たざるえない状況にたちいたつていたのである。
連合幹部には、もはや労働者の怒り・決起を制えることは出来ない。
その他